

第10回統合イノベーション戦略推進会議議事録

1. 日時 令和3年6月11日(金) 7:56~8:16

2. 場所 総理官邸2階大ホール

3. 出席者

議長	加藤 勝信	内閣官房長官
議長代理	井上 信治	内閣府特命担当大臣(科学技術政策)
副議長	小此木八郎	内閣府特命担当大臣(海洋政策)
構成員	武田 良太	総務大臣 (古川康 総務大臣政務官代理出席)
同	上川 陽子	法務大臣
同	茂木 敏充	外務大臣 (鷲尾英一郎 外務大臣政務官代理出席)
同	麻生 太郎	財務大臣
同	萩生田光一	文部科学大臣
同	田村 憲久	厚生労働大臣 (山本博司 厚生労働副大臣代理出席)
同	野上浩太郎	農林水産大臣
同	梶山 弘志	経済産業大臣
同	赤羽 一嘉	国土交通大臣
同	小泉進次郎	環境大臣 (笹川博義 環境副大臣代理出席)
同	岸 信夫	防衛大臣
同	平沢 勝栄	復興大臣
同	河野 太郎	内閣府特命担当大臣(規制改革)
同	坂本 哲志	一億総活躍担当大臣
同	西村 康稔	経済再生担当大臣
同	平井 卓也	デジタル改革担当大臣
同	丸川 珠代	女性活躍担当大臣
	坂井 学	内閣官房副長官
	杉田 和博	内閣官房副長官

4. 議題

- (1) 統合イノベーション戦略2021(案)について
- (2) 「令和3年度特定新技術補助金等の支出の目標等に関する方針」及び

「指定補助金等の交付等に関する指針」について

- (3) 地域の中核となる大学の振興について
- (4) AI戦略2021及び新AI戦略について
- (5) バイオ戦略フォローアップについて

5. 資料一覧

- 資料1-1 統合イノベーション戦略2021(案)(概要)
- 資料1-2 統合イノベーション戦略2021(案)
- 資料2-1 「令和3年度特定新技術補助金等の支出の目標等に関する方針」及び「指定補助金等の交付等に関する指針」について
- 資料2-2 令和3年度特定新技術補助金等の支出の目標等に関する方針(案)
- 資料2-3 指定補助金等の交付等に関する指針(案)
- 資料3-1 地域の中核となる大学の振興パッケージについて
- 資料3-2 地方大学振興の基本的考え方と方向性について(文部科学省提出資料)
- 資料4-1 AI戦略2021及び新AI戦略について
- 資料4-2 AI戦略2021(「AI戦略2019」フォローアップ)(案)
- 資料5-1 バイオ戦略フォローアップ(案)(概要)
- 資料5-2 バイオ戦略フォローアップ(案)
- 資料6 みどりの食料システム戦略(概要)(農林水産省提出資料)

6. 議事

【井上科学技術政策担当大臣】

只今より、第10回統合イノベーション戦略推進会議を開会いたします。

それでは議事に入ります。

一つ目の課題は、統合イノベーション戦略2021(案)についてです。資料1-1に沿って説明いたします。

第6期科学技術・イノベーション基本計画による初の年次戦略として、各省庁と議論を行い、今後1年間の施策を整理しました。具体的には、社会のデジタル化、カーボンニュートラル実現、重要技術の育成、スタートアップ支援に取り組みます。また、研究力強化のため、博士課程学生支援、大学ファンド、地域の中核となる大学の振興に取り組みます。さらに、内閣府と中教審の連携により、STEAM教育の充実に取り組みます。加えて、AIや量子戦略の見直し、ワクチン等の開発・生産体制強化、健康医療、宇宙分野の取組強化を図ります。

本戦略を18日に閣議決定すべく検討を進め、決定後は本会議を中心に関係閣僚の皆様と連携して取り組んでまいります。

次に、二つ目の議題は、スタートアップ支援のための特定新技術補助金等の支出の目標等に関する方針(案)、及び指定補助金等の交付等に関する指針(案)についてです。資料2-1

に沿って説明いたします。

1 ページを御覧ください。スタートアップや中小企業の研究開発とその事業化を一貫して支援するための新たな S B I R 制度の運用に向け、補助金の方針及び指針の案を作成いたしました。方針では、スタートアップ、中小企業に支出可能な補助金の支出目標額を定めています。指針では、政策ニーズに基づき、国が研究開発課題を設定する補助金の公募・執行に関する統一的なルールや、随意契約制度を活用した政府調達などを盛り込んでいます。

次に、三つ目の議題は、地域の中核となる大学の振興についてです。資料 3 - 1 に沿って説明いたします。

1 ページを御覧ください。地域の中核となる大学については、魅力的な特色を持つ大学づくりを目指し、特定分野の高い研究力を更に伸ばすことや、地域、ひいては日本や世界の課題解決に貢献する観点が重要です。文部科学省はじめ関係省庁と連携し、今年度中に地域の中核となる大学の機能強化に向けた政策パッケージを策定します。

2 ページを御覧ください。健康医療、農林水産、エネルギー、ビッグデータ/AI などの重要な政策分野で地方大学は成果を出しています。こうした好事例を踏まえつつ、具体的な検討を進めます。

本件について、萩生田文部科学大臣から御発言をお願いします。

【萩生田文部科学大臣】

文部科学省としては、「知と人材の集積拠点」である大学の力を最大限活用して社会変革やイノベーションの創出を推進するために、地域の期待や自身の強みを踏まえて改革を進める意欲的な地域の大学の取組を後押ししていきます。

引き続き内閣府などの関係省庁と連携・協力しながら、こうした地域の中核となる大学の機能強化に向けた振興パッケージの検討を進めてまいります。関係省庁にも是非御協力のほどお願いをいたしたいと思えます。

【井上科学技術政策担当大臣】

次に、四つ目の議題は、AI 戦略 2021 及び新 AI 戦略についてです。資料 4 - 1 に沿って説明いたします。

1 ページを御覧ください。AI 戦略 2019 を踏まえ、これまで教育改革、研究開発などの取組を進め、2020 年度を期限の取組の 90% が計画どおりに進捗しています。手を緩めずに推進するため、AI 戦略 2021 として継続してまいります。

さらに、デジタル化の進展、米中の技術覇権争いなど、AI を取り巻く環境は急速に変化しており、AI の社会実装の促進や関連のガイドライン整備などを目指した新たな AI 戦略を年内をめどに策定します。

次に、五つ目の議題は、バイオ戦略フォローアップについてです。資料 5 - 1 に沿って説明いたします。

1 ページを御覧ください。2030 年に世界最先端のバイオエコノミー社会を実現すること

を掲げて策定したバイオ戦略をブラッシュアップしたフォローアップを取りまとめました。バイオ技術は、気候変動対応やワクチン・治療薬等の開発競争の激化など、必須な技術であり、2030年時点で現在の5割増しの総額92兆円の市場規模を目指し、市場領域施策を通じたバイオ関連市場の拡大、バイオコミュニティの形成、データ基盤の整備等を更に強力に進めてまいります。

それでは、関係大臣から御発言をいただきたいと思います。時間も限られておりますので、簡潔にお願いいたします。

まず、萩生田文部科学大臣、お願いします。

【萩生田文部科学大臣】

文部科学省としては、統合イノベーション戦略2021を踏まえ、大学ファンドを活用した世界と伍する研究大学の実現や、博士課程学生を含む若手研究者への支援に取り組むとともに、地域の「知と人材の集積拠点」である大学の振興、戦略的に重要な技術領域における優越性の確保等を図ってまいります。

AI戦略2021については、GIGAスクール構想の実現に向けた取組や、理研AIPセンターにおける基盤技術の研究開発など、これまでの成果を踏まえながら、関係府省と協力し、更なる推進に努めてまいります。

また、国産ワクチンの開発・生産体制の強化に国家戦略として取り組む必要があり、世界トップレベルの研究開発拠点の形成とともに、産業界や臨床現場と連携しつつ、平時から、今後の感染症対策に資する多様な研究開発を推進してまいります。

【井上科学技術政策担当大臣】

次に、梶山経済産業大臣、お願いします。

【梶山経済産業大臣】

本日提示された統合イノベーション戦略2021に基づき、経済産業省としては、カーボンニュートラルの実現に向けたグリーンイノベーション基金を活用した研究開発のほか、半導体、AI、バイオなど、我が国の産業競争力の維持・強化につながる研究開発を進めます。

また、今回強化されるSBIR制度などを通じて、スタートアップを含めたイノベーションの創出や、これを実現するための人材育成に取り組めます。

引き続き、関係省庁と連携しながら、様々な社会課題の解決に向けて、イノベーションが継続的に生み出される環境を整備してまいります。

【井上科学技術政策担当大臣】

次に、上川法務大臣、お願いします。

【上川法務大臣】

統合イノベーション戦略2021(案)でも言及されているとおり、技術流出対策等を講じる上で、経済安全保障に係る情報の収集・分析機能を更に強化することが不可欠です。政府の施策に積極的に貢献すべく、公安調査庁において、関係府省庁・民間企業等との一層の連携を図りつつ、関連情報の収集・分析を強化してまいります。

【井上科学技術政策担当大臣】

次に、野上農林水産大臣、お願いします。

【野上農林水産大臣】

農林水産省では、食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現するため、本年5月にみどりの食料システム戦略を策定しました。

本日の会議資料6として、本戦略の概要を2枚配布しております。2050年までに目指す姿として、農林水産業のCO₂ゼロエミッション化等を掲げており、革新的な技術・生産体系の開発、その後の社会実装を実現していきたいと考えております。

農林水産業は、森林及び木材、農地、海洋が吸収源となる重要な産業であり、カーボンニュートラルの実現にも大きく貢献する潜在的な強みがあると考えております。戦略の具体化に向けて関係省庁と緊密に連携しながら、実効性のある取組を進めてまいります。

【井上科学技術政策担当大臣】

次に、赤羽国土交通大臣、お願いします。

【赤羽国土交通大臣】

国土交通省といたしましては、新しい技術を活用したカーボンニュートラルやデジタル社会の実現に向けて、二つの柱に取り組んでまいります。

一つ目の柱は、民間企業の技術開発への支援への取組です。具体的には、国際的にも関心が高まっている持続可能な航空燃料、いわゆるSAFと呼ばれる新たな航空バイオ燃料の活用や、水素・アンモニア等を燃料とする次世代船舶の開発支援を重点的かつ強力に進めてまいります。

二つ目の柱は、官民共通となるデータ基盤の整備などの取組です。国土交通省が開発をいたしました都市の3Dモデルであるプラトー、今これまでに全国56都市で実証実験的に公開をしているところでありますが、今後災害ハザードマップの三次元表示や、バーチャルの観光体験など様々な分野での活用を視野に、全国の自治体が基盤データとして活用できるよう整備を進めてまいります。

引き続き関係府省とも連携しながら、官民挙げて取り組んでまいります。

以上です。

【井上科学技術政策担当大臣】

次に、平沢復興大臣、お願いします。

【平沢復興大臣】

昨年末の復興推進会議決定により、福島創造的復興の中核拠点として、研究開発と人材育成を行う国際教育研究拠点の新設が定められました。本拠点が福島の復興・再生はもとより、我が国、そして世界の課題解決に資するイノベーション創出の拠点となるよう、関係省庁と連携しながら引き続き検討を進めていきたいと考えております。

以上です。

【井上科学技術政策担当大臣】

次に、平井デジタル改革担当大臣、お願いします。

【平井デジタル改革担当大臣】

デジタル改革を促進するため、人間中心のAI社会原則に基づいて、AI-Readyな社会への変革を推進する必要があります。

先日、包括的データ戦略を取りまとめ、トラスト基盤の論点整理やベース・レジストリの指定等、データ戦略を社会実装するための方向性を提示させていただきました。

また、SBIRを政府情報システムの調達におけるスタートアップの参入拡大につなげていくため、デジタル庁は関係機関と連携して取り組んでまいりたいと思います。

今後、デジタル庁では、AI戦略やSBIR制度と連携して、社会実装に取り組んでいきたいと思っています。

【井上科学技術政策担当大臣】

次に、河野規制改革担当大臣、お願いします。

【河野規制改革担当大臣】

2050年カーボンニュートラルの実現に向け、再生可能エネルギーに関する規制改革に取り組んでいます。これまでタスクフォースにおいて、農地や森林等の立地制約の解消、電源トラッキングの導入の加速化、国際的に通用する「再エネ価値取引市場」の試行的実施などに取り組んできました。引き続き、再エネの導入や利用拡大のための規制改革を進めます。

再エネのみならず、幅広い分野を対象に、国民から見て価値を生み出す規制改革に取り組んでいます。プログラム医療機器の柔軟、迅速な承認審査、ICTの活用を踏まえた大学・高校設置基準の見直しなど、エビデンスに基づきながら、国民の皆様にも利便性を実感していただけるような規制改革を進めます。

以上です。

【井上科学技術政策担当大臣】

次に、西村経済再生担当大臣、お願いします。

【西村経済再生担当大臣】

イノベーション創出のためには、博士号取得者を今まで以上に重視し、10兆円規模の大学ファンドの活用により安心して研究に専念できる環境を作ることが重要だと考えています。

特に、女性について、15歳の理数系スコアはOECD中第2位なのですが、大学の理工系分野の女子割合はOECD中最下位ということでもあります。潜在力のある女性の理工系への進学を促す取組も強化していければと考えています。

本年の骨太方針、成長戦略でもそうした内容を盛り込んでおります。文部科学省はじめ関係省庁と連携して取り組んでいきたいと考えています。

【井上科学技術政策担当大臣】

次に、丸川女性活躍担当大臣、お願いします。

【丸川女性活躍担当大臣】

イノベーションを創出する上では多様な視点が必要不可欠であると言われていた中、この分野への女性の参画拡大は急務です。自然科学分野における女性のノーベル賞受賞者はこれまで世界でのべ23名いる中、日本人女性の受賞者はいまだ現れておりません。

2018年に実施されたOECDの国際学力調査によると、15歳時点の日本の女子の数学と科学の点数は世界の男子・女子の平均をはるかに上回っており、世界トップクラスの水準です。にもかかわらず、研究者に占める女性の割合は、年々上昇しているものの、諸外国と比較すると著しく低い状況となっています。

第5次男女共同参画基本計画において、大学の理工系の教員に占める女性の割合等を、令和7年までに引き上げる目標を掲げております。これらの目標の達成に向けて、関係省と連携し、取組を進めてまいります。

【井上科学技術政策担当大臣】

次に、山本厚生労働副大臣、お願いします。

【山本厚生労働副大臣】

厚生労働省におきましては、統合イノベーション戦略2021に基づき、内閣府等の関係省庁や関係機関との連携の下、これまでに治療法がなかった患者に、新たな個別化医療を提供するために策定した、全ゲノム解析等実行計画及びロードマップ2021の着実な推進や、新型コロナウイルス感染症に対する国産のワクチン、治療薬等の早期の開発、実用化等に努めてまいります。

【井上科学技術政策担当大臣】

次に、笹川環境副大臣、お願いします。

【笹川環境副大臣】

菅総理が2050年カーボンニュートラルの実現、さらに、その途中となる2030年度の温室効果ガス46%削減と50%の高みに向けた挑戦を続けることを宣言された。

今月9日には、国・地方脱炭素実現会議において、地域脱炭素ロードマップが取りまとめられた。2030年までに脱炭素への移行に先行的に取り組む脱炭素先行地域を少なくとも100か所創出するとしており、オンサイトPPAモデル等による再エネ主力化に向けた取組、ZEH、ZEBの普及支援、ナッジなどの行動科学の知見の活用等、統合イノベーション戦略に掲げられた取組をはじめ、適用可能な最新技術も活用し、直ちに対策を実行していく。これらにより、ライフスタイルの変革を進め、脱炭素社会を実現する。

【井上科学技術政策担当大臣】

次に、古川総務大臣政務官、お願いします。

【古川総務大臣政務官】

総務省としては、次世代インフラとなりますBeyond5Gについて、産学官の叡智を結集した研究開発を加速させ、知財取得や国際標準化を主導いたします。

また、分野別戦略の推進については、大阪・関西万博での利用を目指しましたAIによる多言語同時通訳の研究開発、量子暗号通信の研究開発及び社会実装の推進などにしっかりと取り組んでまいります。

【井上科学技術政策担当大臣】

ありがとうございました。

それでは、これらについて、原案のとおり了承してよろしいでしょうか。

(異議なし)

【井上科学技術政策担当大臣】

原案のとおり了承をいただきました。

本日御議論いただいた統合イノベーション戦略2021(案)については、今月中旬の総合科学技術・イノベーション会議答申及び閣議決定に向けて所要の進めを進めてまいります。

それでは、最後に、加藤官房長官より御挨拶をいただきたいと思います。プレスが入室しますので、お待ちください。

(プレス 入室)

【井上科学技術政策担当大臣】

では、加藤官房長官、お願いいたします。

【加藤官房長官】

4点について申し上げます。

第一に、世界に視野を向けると、グリーンやデジタル分野を中心に、ポストコロナに向けた成長へと既に政策を大きくシフトさせております。我が国としても、コロナを乗り切った後の経済社会の姿を念頭に、今後1年間で取り組むべき科学技術・イノベーションに係る政府の戦略である統合イノベーション戦略2021を速やかに閣議決定することといたします。

第二に、新SBI R制度の支出目標と運用指針について、本日の議論を踏まえ、速やかに閣議決定をいたします。各大臣は、各府省の政府調達などを通じて、スタートアップ企業が有する優れた技術を社会実装に結びつけることに真剣に取り組んでいただきたいと思っております。

第三に、我が国の大学には健康医療やエネルギーなど、人類社会の抱える課題解決に積極的に貢献し、世界からも注目される成果を挙げているところが少なからずあります。このような大学の努力を成果に結びつけるためには、文部科学省だけではなく、政策課題を抱える各府省の全面的協力が不可欠であります。科学技術担当大臣・文部科学大臣は、関係大臣と連携の上、年度内に、地域の中核となる大学の持つ可能性を最大限引き出す地域の中核となる大学の振興パッケージを策定してください。

最後に、AI戦略とバイオ戦略について、フォローアップを行いました。AI戦略については、安全保障、倫理などをめぐり、急展開する海外情勢も踏まえ、新たな戦略を策定することを決定いたしました。科学技術担当大臣が中心となり、デジタル担当大臣や関係大臣と連携しつつ、年内を目途に新たな戦略を策定してください。

また、バイオ分野においては、カーボンニュートラルに向けた本格的な取組が開始されるとともに、新型コロナウイルス対応を通じて、データ収集・分析の重要性などが世界的に認識されております。科学技術担当大臣を中心に、関係大臣は、バイオコミュニティ形成やデータ連携を通じて、我が国のバイオ技術の市場領域の拡大に早急に取り組んでいただきたいと思っております。

【井上科学技術政策担当大臣】

ありがとうございました。

では、プレスの方は御退室ください。

(プレス 退室)

【井上科学技術政策担当大臣】

本日の議事は以上です。

本日の資料及び議事録は公表させていただきます。

以上で会議を終了します。ありがとうございました。